

4-7. 防犯活動と生活ルールの徹底

4-7-1. ミッション

庶務班が避難者の当番制を組織し、当番表を作ってコントロールする。

4-7-2. 防災拠点出入りチェック

出入口は◎◎昇降口、体育館入口とし、常に受付を設けて避難者の入退所をチェックし、地区の代表者(又は部屋の代表者)にも確認する。

- (2) 受付は、防災関係機関、報道機関、その他来訪者の入校については、その身分を確認し、運営委員会の承認を受けることとし、場内では名札や腕章等を着用させる。
- (3) 避難場所内での撮影は、避難者のプライバシーに十分配慮し、原則として禁止し、本部の承認があった場合のみ許可する。
- (4) 体育館や校舎の入口毎に警備要員を配置する。

4-7-3. 防犯パトロール

防犯パトロールは原則避難所内を対象とし、夜を中心に行う。
避難所外の防犯パトロールは行わない。(必要な場合は自町会の自律対応とする)

要検討:パトロール編成、人数頻度、場所を記載する。
写真を付けること

4-7-4. 生活のルール

避難所の生活ルールを以下に示します。これらは原案です。
発災時には臨機応変にルールを決めて運用願います。

助け合い、譲り合い、思いやりの気持ちで！

(1) 各種当番の対応

避難者はお客ではありません、自らできることを助け合って避難所運営を行う必要があります。
スムーズに運営するためには、庶務班が作成した当番表に従い十字願います。
なお、当番を決めるにあたり、高齢者、母子(乳幼児)等を考慮して決定します。
以下に当番業務を列挙するので、各自協力して対応願います。

- ①食事調理(運用期) 4-4-4 賄い・湯沸し業務参照
- ②食事配膳 4-4-5 配膳業務参照
- ③トイレ清掃 4-10-2(1)参照
- ④ゴミ集積所清掃 4-10-2(2)参照 注:各自ゴミ出しルールを守ってください。
- ⑤防犯活動 4-7-3参照

(2) 消灯時間のお願い

避難所では、互いの迷惑を避けるため以下の通りとします。
消灯は9時とします。以降は懐中電灯等の使用時は、手元を照らす程度の明かりとし、
光量の大きい照明器具の使用は避けてください。

(3) 消音のお願い:携帯電話、電子機器使用(ラジオ、携帯TV、ゲーム機等)

- ①携帯電話で会話する場合はホール等の外に出て使用願います。
受信時は、速やかにホールに移動してください。
- ②電子機器を避難所で使用する場合は音声を出さない様設定願います。
音声を聞く場合はイヤホンを使用願います。なお、長時間の使用は3階北西の
視聴覚教室を談話室として開放しているので、そこで使用願います。

(4) トイレ使用

避難所で怖いのは食中毒です。トイレは全員当番で清掃しますが、各自綺麗に使用願います。
特に下記を注意願います。

- ①指定されているトイレのみ使用願います。必ずトイレを使用し野外での用足しは禁止です。
- ②トイレ出入り口での履物分離(トイレ専用のスリッパを使用。)
- ③使用後必ず、流水で手洗いを**行う**。アルコールジェル、手洗い洗剤が用意されている場合
は必ず使用して消毒してください。

注:トイレ設営と清掃については4-10-2(1)参照。保険衛生は4-10-1参

(5) 避難所内禁煙のお願いと喫煙場所の厳守。

避難所全体が禁煙です。どうしても喫煙したい場合は、**校門(東西)の外**でお願いします。
吸殻は確実に持帰り、「吸殻回収缶」とうが設置されている場合はそこに捨ててください。
なお、設置されるまでは、水に付けて確実に消火してゴミ箱に廃棄願います。

(6) 自由な洗面・飲料水使用

水は十分に確保ができるまでは貴重品です。本部運営会議から許可が出るまでは、指示に
従ってください。給水器設置等の水の確保が出来た時点で自由な洗面・飲料水使用の許可
を出します。ただし、グループ単位での順番・場所の指定などの制約は行います。

(7) 自家用車の駐車・乗り入れ

傷病人の移動・物資搬入出等必要な時は、庶務班に相談願います。
原則校内乗り入れは禁止。ですが、校門前までか、校内までか個別に判断します。
なお、PHEV等電源車として使うときは相談の上許可します。

(8) その他 ・着替えは舞台の裏にある更衣室を使用。

- ・清掃は必要時に依頼をするので対応願います。身の周りは適時対応願います。
- ・洗濯・干場については発災時に決める。洗濯機、乾燥機の確保から検討。
タオル・ハンカチ等は室内干しの場所を決める。

4-8. 防災拠点外での救出・救護活動

4-8-1. ミッション

この救出救護活動は発災直後の活動ではなく、地域防災拠点に集合した時点以降に余震等により発生する被災に対し適用する(発災時は地域防災拠点に来るより、所属する自町会内での対応が優先される)

- (1) 防災備蓄庫から被災者の救出に必要な防災資機材を搬出し作動点検する。
- (2) 避難者からも救助活動協力者を集め、救助隊を編制する。(1班が10人程度)
- (3) 地域からの求めに応じて、自町会、民生委員や医療経験者など(福祉経験者)と連携し、要援護者を救助する。(自町会も独自に救出活動等を行う)
- (4) 救出者の搬送や被災状況を情報班に報告する。
- (5) 自衛隊や消防、消防団に、救助が必要な倒壊家屋などの情報を提供し、その活動を効果的にサポートする。

※無理な救助活動により二次災害を受けないように注意すること。

⇒拠点外への救出・救護チームの編成が難しい場合(2)活動は行わない。

最低限(1)を行い、(3)の対応(機材貸出、救助支援)を実施する。

(4)は直接対応した情報や自町会からの報告を情報班に伝える。

情報班は、4-8(3)に従い行政報告を行う。

(5)は自町会からの情報を集約して提供する。

自町会は、緊急時には直接行政への支援要請を行うが、並行して防災拠点への情報提供も行う。

報告フォーマットは行政の要請に応じて現場対応(本部運営会議が情報班と連携して行う)とする。

4-8-2. 救出・救護業務

補足:ここで言う駆けつけ隊は今の仕組みのメンバーだけでなく、これから組織するコアメンバーをも含む

(1)救出・救護班の編成

- ①発災直後は、近所の一時避難所に避難した後、近所での火災発生防止や余震による被害に注意しながら救助活動に備えるが、駆けつけ隊のメンバーは出来るだけ早く防災拠点に駆けつける。
- ②小田小地域防災拠点に来てからの対応
必要に応じて地域防災拠点に避難してきた人にも救出・救護班への参加協力を呼び掛ける。
救出・救護班は概ね10人程度で考える。(疲労による交替要員の確保も必要)
班長は、現場へは行かず地域防災拠点に残って総合連絡と調整を行う。
また、活動状況を把握し、必要に応じて調整連絡会の場で交替要員や応援者を手配する。

(2)救出活動

- ①家屋などに閉じ込められている人を発見したとき、近くに消防救助隊などが展開している場合は、その助けを求める。
- ②近くに消防救助隊などがいない場合は、二次災害に注意しながら救助活動を行う。
- ③助隊での救出が困難と判断した場合は、消防救助隊を要請し、到着までの間に閉じこめられている人に声をかけるなど励ましの活動をする。
- ④救出・救護班は、自治会町内会の防災担当や若者達とも連携・協力して救助活動を行う。

(3)救助すべき場所

庶務班からの情報をもとに救助を必要とする場合(倒壊家屋)を地図に記録し、救出救護班は出動する。
(予め、地域の居住者名入りの地図を備えておく)

⇒自町会のマップ入手は発災時とする。(そのための準備は1.通常時の維持管理参照)

班長は、被災状況等優先順位を付してから倒壊家屋地図で救助隊に活動場所を指示する。

(4)防災備蓄庫にある防災資材

添付資料3 参照

(5)防災資機材の補充

必要に応じて、自動車に常備しているジャッキや各家庭にある機材を在宅者などから借用することも要請する。

注意事項:地域の居住者名入りの地図については、必要なら発災時に各自町会から提出頂く。

4-8-3. 被災状況報告(各自町会)

<<被災状況調査方針>>

被災状況調査は防災拠点から人を派遣しては実施しない。

各自町会からの報告に委ねる。

被災状況調査に使う報告書は 4-1-7(3)被災状況報告書参照

行政が要求する情報の確認は必要だが、原則上記の情報で対応する。

4-9. 防災拠点での救護活動

4-9-1. ミッション

やれる範囲の明確化。素人と医療従事者。
専門家への引継ぎ

4-9-2. 救護業務

- (1) 教職員と協力して保健室を応急手当てのできる状態に整える。
- (2) 負傷者には、傷の清拭、消毒、ガーゼ、包帯などで応急処置を行う。
- (3) 医師、看護師等の有資格者がいる場合は協力依頼する。
- (4) 避難者の中で、介護を必要とする障害者、高齢者、病人などを把握する。
- (5) 特別な介護が必要と思われる場合は、区本部に連絡して、その指示を受ける。
- (6) 軽傷、中傷の時は、当地域にある病院が開設されているかを確認し、そこへ搬送するように指示し、必要に応じて介添えを手配する。
重傷者は、区本部に連絡し、その指示に従う。

<<補足説明>>

- (1) 清水の確保
 - ① ボトル詰めの水が常備してある場合はこれを用いる。⇒**具体的に**する
 - ② 足りない時は、食料・物資班が管理する飲用の水を用いる。
- (2) 要援護者のための部屋の確保
要援護者が静かに安心していられる部屋スペースを1階のトイレや保健室の近くに用意する。
⇒**具体的に**する
- (3) 聴覚障害者への対応
救出救護班員の中に、手話のできる人がいないかを確認する。いない場合には、手話に頼らず[筆談]も活用する。
- (4) 視覚障害者への対応
音声による意思伝達ができる人の協力を求める。
- (5) 身体障害者への対応
介護のできる人の協力を求める。
- (6) 日本語が不自由な外国人への対応
防災備蓄庫にあるコミュニケーションボードの活用や外国語のできる人の協力を求める。
- (7) 地域の要援護者の確認 (**基本的には、安否確認は自治会・町内会で対応**)
 - ① 発災直後は、先ず、隣近所(同じ班員)どうして声をかけあい安否確認をしあう。
 - ② 状況が落ち着いた後、地域の民生委員等を中心にして、2人1組でチーム編制する。
 - ③ 安否確認して歩き、状況により地域防災拠点への移動を促す。
 - ④ 地域防災拠点での生活が困難な要援護者については区本部に連絡し、区本部の指示に基づき特別避難所(福祉施設など)に移動させるようはからう。

4-9-3. 救護対象者管理業務

- (1) 負傷者、病人、要援護者の人数を把握する。
特に、医療施設や特別避難場所(地域ケアプラザ等)に搬送を要するひとを優先的に把握し、必要な措置を講じる。⇒**管理表は別途作成。地域の施設を記載し、選択できるようにする。**

4-10. 防災拠点保健衛生活動

4-10-1. 保健衛生⇒救護班対応

小田小学校防災拠点運営にあたり被災者の健康維持の為医療関係者と協議し決定する。
少なくとも以下のことは徹底する方がいい。

- ・手洗いの実行 バケツ・柄杓、アルコールジェル。
- ・うがいの励行 紙コップ・うがい薬、最低限水でよい。
- ・状況により発熱者の隔離と動線分離。

保健衛生の観点から下記品目を備蓄し定期的に入れ替えを行うものとする（一度に揃えない）

三角巾、包帯、ガーゼ、アルコール消毒液、液体石鹸、カット綿、風邪・腹痛薬程度
現時点で準備できているものは下表。

なお、クレゾール、アルコール、バケツ等は衛生関連立ち上BOXにあるので庶務班と会話して入手する。

救護班立ち上BOX

| NO | 品名 | 数量 | No | 品名 | 数量 |
|----|-------------------------|------|----|----|----|
| 1 | 防災拠点運用手順書 | 5部 | 11 | | |
| 2 | 腕章(黄色) | 19 | 12 | | |
| 3 | 応急手当用品セット | 一式 | 13 | | |
| 4 | 救護BOX(消毒薬、包帯、薬等) | 2セット | 14 | | |
| 5 | | | 15 | | |
| 6 | | | 16 | | |
| 7 | | | 17 | | |
| 8 | 拡声器 上の段左側にある。 | 2器 | 18 | | |
| 9 | 注:他の必需品は備蓄庫から 持ち出すこと | | 19 | | |
| 10 | | | 20 | | |

注1: NO3, 4は保健相談室にある

注2: No3は期限間近になると行政から更新される(物資によって期限が違う)

注3: 薬品等不足な場合は、学校側と相談して保健室から入手すること。

新感染症対策(新型コロナウイルスなど)

1ページの「防災拠点における感染症対策を」見てください。

4-10-2. トイレとゴミの清掃活動⇒庶務班対応

(1) トイレの設営

- ① トイレは体育館南に下水に流せる「ハマッコトイレ」があるので、次ページとマニュアルを参考にして設置する
- ② トイレは**ハマッコトイレ以外使わない**よう避難所設営時に周知(張り紙等)する
ただし感染症予防のため感染者控室を設置した場合は、そのとなりのトイレを専用として周知する。
なお、トイレアプローチの手前にアルコール消毒液設置を検討すること。
- ③ トイレは専用スリッパを使用し体育館出口で履きトイレアプローチを移動。
トイレ用と明記(大人用、子供用注意)

(2) トイレの清掃

感染症予防の観点で以下の清掃を当番制で実施する。

- ・トイレ囲いのドア取っ手、台座のアルコール清掃(使用者にやってもらう用シート等用意できるといい)
- ・トイレ床面のクレゾール消毒(1回/日)。
- ・トイレアプローチ路面のクレゾール消毒(適時)。
- ・トイレ専用スリッパのクレゾール消毒(適時)

注: 当番は4-1-7. 各種フォーマットの(2)小田小学校防災拠点当番表を参考に決める。

衛生関連立ち上BOX

| No | 品名 | 数量 | No | 品名 | 数量 |
|----|--------------------------------------|-----|----|---------------------------------------|---------|
| 1 | クレゾール | 2本 | 11 | ポリバケツ中 | 6個 |
| 2 | アルコール消毒液 | 5本 | 12 | ポリバケツ小 | 6個 |
| 3 | | | 13 | | |
| 4 | | | 14 | | |
| 5 | | | 15 | | |
| 6 | | | 16 | | |
| 7 | | | 17 | シリコンゴム手袋(介護用を流用) | 3箱(100/ |
| 8 | 養生テープ(幅細) 貼紙用 | 1巻 | 18 | ジョウロ(消毒薬散布) | バケツで代用 |
| 9 | ぼろ布(不要な綿シャツ) 割いて、使い捨てタオルや雑巾として使用。 | 50枚 | 19 | トラテープ,関係者onlyテープ トイレへの誘導路、立ち入り禁止設定 | 各1巻 |
| 10 | 使い捨てペーパータオル | 10箱 | 20 | トイレ用サンダル→学校のを転用予定 | — |

アルコール消毒液など保存期間はあるが密閉して保存。期限は気にしないこととする。No9は寄付で集

注意事項: アルコール、手袋等不足した場合は感染症対応立上BOXから使用する。
この場合本部の了解を得るものとする。

(3) ゴミ清掃活動

<<ゴミ廃棄場所と廃棄対象>>

分別収集: 場所 ポンプ室周辺(紙類は体育館周辺屋根下) カラス除け組立ネットに分類投入(大きいゴミ袋)

① 缶・瓶・ペットボトル・金属 ② 生ゴミ ③ プラ類 ④ トイレ汚物 ⑤ 小物: 乾電池

⑥ 紙類(新聞・雑誌・段ボール・紙パックその他)

<<ゴミ清掃>> 当番制によるゴミ回収と周辺清掃を実施する。

生ゴミについては朝・昼・夜食後に集中巡回して回収しポリ袋の発生を少なくする(当番制)

④はまっこトイレ組み立て手順（詳細は付属の手順書参照）

組み立てるのは車いす用1，一般用4。一番左が車いす用とします（体育館出口に近い）

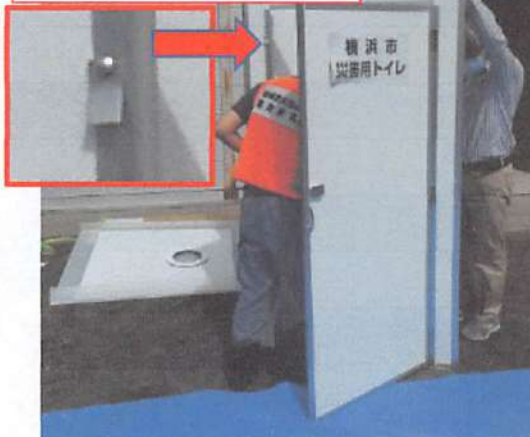
詳細は建屋組み立て手順、台座組み立て手順と内容物一覧を参考。下記写真で大体組み立てできます。

- ①防災倉庫左手前にある備品を運び出し体育館前のマンホールの前に余裕をもって並べて置く
- ②荷しめベルトを緩める（切らないこと）。箱は訓練後保存のため壊さないこと



- ③建屋を立てて広げる。両脇の上にレールを差し固定。天井を乗せアイボルトで固定（4か所）

注意：ロックを下げる



穴を後ろにして床材を敷く



両脇の下に広いL金具を取り付ける。蝶ねじ使用。



- ④ペーパーホルダー、天井灯を磁石で取り付ける



天井灯の蓋のシールは外さない

- ⑤マンホールを金具で開ける（倉庫のトイレ式と同じ場所の壁にある）



ロックを押し下げてT字フックを挿して回す。蓋を持上げる



蓋を両手で持ち写真のようにT字金具を穴から外し保管する。



左が短く丸い

- ⑥台座組み立ては省略。写真のようにマンホールの上に置きシューターを取り付ける



- ⑨アイボルトに砂袋などを取付けて家屋を固定する。L金具の上にブロックを乗せる等要工夫。



(5) 洗浄用水の取水と定期的な排水 & 湛水(詳細)

- ・作業要員は3から4名: プール1~2名。理科実験室2階のベランダ1名。地上1名。約30分。
- ・使用機器: ポンプ1、取水ホース1、ポンプ出口ホース1、トイレ入り口ホース1(バルブ付き)。3本は予備
- ・トイレタンクの排水と湛水は多いときは2回/日、少なければ1回/数日と想定。(人数による)
常設は地上のホースによる転倒。風雨の時は立ち下げ部分のホースによる校舎損傷やホースの棄損の
危惧があり**毎回收納**することとする。

- ①ポンプと取水ホースと出口ホースをプールの南東角に運ぶ。
バルブ付きホースは地上の校舎玄関に運ぶ
- ②ポンプと取水ホースと出口ホースをつなぎ。ホースを南の壁からベランダに垂らす。
ベランダの担当はそれを地上に垂らす。取水ホースはプールの中。



- ③地上ではバルブ付きホースはトイレの給水口に置く(接続なし)。バルブは開いておく
反対側の接続金具と上から降りてきたホースを玄関前で接続する。

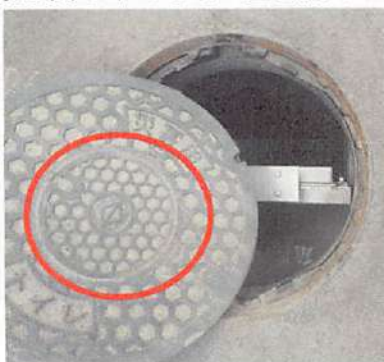


注:マンホールの開閉は
トイレ設営の章参照。
給水用:西側
排水用:東側の
大きい蓋

- ④上下のホースをつなぎ終わったら上の担当に声をかけポンプを動かしてもらおう。
- ⑤トイレに適量たまったら上の担当に声をかけてポンプと出口ホースを切り離してもらおう。
これによりホースの中の水がパージできる。
もし操作に時間がかかるようならバルブを閉めておく。
上で切り離しが終わったらバルブを開いてホースの中の水を抜く。上下のホースを切り離し下のホースの水を切る
- ⑥上と下のホースを切り離し、下のホースの水を抜いてからトイレの裏か間に保管。(訓練時は更衣室に返還)
- ⑦ホースが切り離されたらプール側はホースを持ち上げて収納
ポンプと取水ホースを切り離して、ポンプの水抜きをして更衣室に収納。
- ⑧トイレタンクの水を遮断弁を持ち上げて排水する。
実際は真ん中の小さい蓋を開けて取手を引けばいい。



捻じれないためには八の字収納。



注意:取手は回すと外れるので
回さないこと。
一応ガムテープで固定している。

4-11. 情報の管理・提供

4-11-1. 防災拠点への情報提供

(1) 防災拠点ニュース

受け入れ人数

救援物資状況

……何があるのか？

4-11-2. 各自町会への情報提供

(1) 防災拠点ニュース(4-11-1と同じ情報)

4-11-3. 行政への情報提供

防災関係機関等連絡先一覧
〔金沢区〕

防災電話の使い方は省略

| 防災関係機関 | 電話番号 | 備考 |
|---------------|-------------------|-----------------|
| 小田小学校運営拠点 | 775-3011、775-3012 | |
| | FAX:773-9347 | |
| 金沢区役所総務課 | - | デジタル移動無線電話 |
| 金沢区役所総務課 | 788-7703~5 | 金沢区災害対策本部加入 |
| 金沢区役所総務課 危機管理 | 788-7706 | 防災行政用無線電話番号 |
| 金沢消防署 | 781-0119 | |
| 金沢消防署富岡出張所 | 772-0119 | 東富岡出張所:774-0119 |
| 金沢警察署 | 782-0110 | 西富岡、東富岡派出所と共通 |
| 金沢土木事務所 | 781-2511 | |
| 環境事業局金沢事務所 | 781-3357 | |
| 金沢郵便局 | 782-6766 | 郵便課 |
| 富岡郵便局 | 771-1901 | |
| 京急富岡駅 | 771-6724 | |
| 富岡地域ケアプラザ | 771-2301 | |

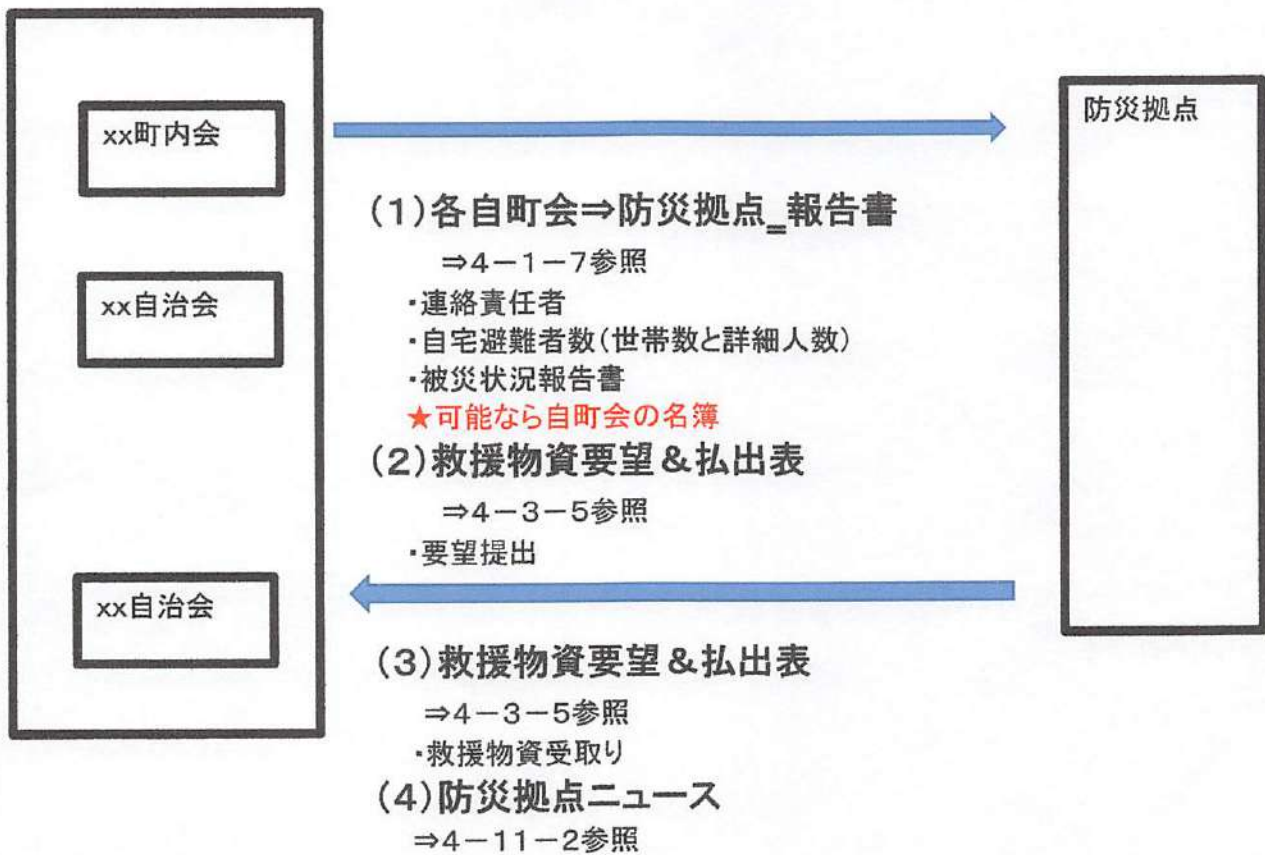
〔磯子区〕

| 防災関係機関 | 電話番号 | 備考 |
|------------|----------|-------------|
| 磯子区役所総務課 | 750-2311 | 磯子区災害対策本部加入 |
| 磯子区役所総務課 | 3829 | 防災行政用無線電話番号 |
| 磯子区役所総務課 | 19 | デジタル移動無線電話 |
| 磯子消防署 | 753-0119 | |
| 磯子消防署杉田出張所 | 773-0119 | |
| 磯子警察署 | 761-0110 | |
| 磯子土木事務所 | 761-0081 | |
| 水道局磯子営業所 | 753-1241 | |
| 資源循環局磯子事務所 | 761-5331 | |
| 磯子郵便局 | 751-5062 | |
| JR杉田駅 | 772-1247 | |
| 京急杉田駅 | 771-4357 | |
| 新杉田地域ケアプラザ | 771-3332 | |

〔金沢・磯子区共通〕

| 防災関係機関 | 電話番号 | 備考 |
|------------------|--------------|----------------|
| 東京電力(株)カスタマーセンター | 0120-995-772 | 神奈川第一カスタマーセンター |
| 東京ガスお客様センター | 0570-002-211 | |
| 神奈川LPガス協会 | 0120-244-566 | |
| 水道局お客様サービスセンター | 847-6262 | |

4-11-4. 発災時の防災拠点と各自町会のやり取り



各自町会は(1)～(4)に合わせて各自町会の防災マニュアル等を整備願います。
必要な用紙(4-1-7, 4-3-5)は本運用手順書の該当ページをコピーして事前準備願います。

4-12. ボランティア管理

旧4-14を参考にして以下のような整理を行う

| | |
|-------------------|-------|
| ボランティア受付 | 庶務班？ |
| ボランティアへのミッション割り振り | 運用調整会 |
| 名簿管理 | 情報班 |

受付表、管理表要作成。受付表は避難者カードを流用。管理表へは未記入でいい。

注

管理表の退去日は予定と実績欄を作るべきだが、欄が増えるのも煩雑。今のままにして、予定は白地、完了は青にする等工夫すること。

旧4-14ページ

- (1) 人手が必要な作業を把握し、整理する。
- (2) ボランティアの申し出に対して、希望・技能などを考慮し、配置を振り分ける。
- (3) ボランティア名簿を作成し、ボランティアの参集。退去などを管理する。
- (4) 地域のボランティア経験者やボランティアコーディネーターに、ボランティアのコーディネーター役の協力を要請する。

(補足説明)

1. 作業のリストアップ
各班の作業の進展を確認し、人手を必要とする作業と人員をリストアップする。
2. 区災害対策本部(ボランティア班)との連絡調整
主として、行政職員を通じて行う。
3. 自主運営の働きかけ
避難場所に落ち着いた人には、各班の作業への協力を求める。
速やかに、避難者による自立した運営が可能となるように働きかける。
4. ボランティア名簿の作成
 - (1) 予め用意した書式に従い、ボランティアの名簿を用意する。
記入項目：住所、氏名、年齢、到着日、滞在予定、希望する作業、技能、宿泊場所、連絡方法、食事の必要性(原則自分で用意いただく)
担当作業 両者で話し合っ決定する。
 - (2) ボランティアが退去する場合も日付を記録する。



よこはま地震防災市民憲章

～私たちの命は私たちで守る～

ここ横浜は、かつて関東大震災に見舞われ、多くの方が犠牲になりました。
大地震は必ずやってきます。その時、行政からの支援はすぐには届きません。
私たち横浜市民はそれぞれが持つ市民力を発揮し、一人ひとりの備えと地域の絆で
大地震を乗り越えるため、ここに憲章を定めます。

穏やかな日常。それを一瞬にして破壊する大地震。大地震はいつも突然やって来る。
今日かもしれないし、明日かもしれない。

だから、**私は自分に問いかける。地震への備えは十分だろうか。**

大地震で生死を分けるのは、運・不運だけではない。また、自分で自分を守れない
人がいることも忘れてはならない。私は、私自身と周りの大切な人たちの命を守りたい。

だから、**私は考える。今、地震が起きたら、どう行動しようかと。**

不安の中の避難生活。けれどみんなが少しずつ我慢し、みんなが力を合わせれば
必ず乗り越えられる。

だから、**私は自分に言い聞かせる。周りのためにできることが私にも必ずあると。**

東日本大震災から、私たちは多くのことを学んだ。頼みの行政も被災する。大地震
から命を守り、困難を乗り越えるのは私たち自身。多くの犠牲者のためにも、このことを
風化させてはならない。

だから、**私は次世代に伝える。自助・共助の大切さを。**

平成 25 年 3 月 11 日制定

地域で家庭で実践しよう！

よこはま地震防災市民憲章[行動指針]

備え

- 1 自宅の耐震化と、家具の転倒防止をしておきます。
- 2 地域を知り、地域の中に隠れた危険を把握しておきます。
- 3 少なくとも3日分の飲料水、食料、トイレパックを備蓄し、消火器を設置しておきます。
- 4 家族や大切な人との連絡方法をあらかじめ決めておきます。
- 5 いっつき避難場所、地域防災拠点や広域避難場所、津波からの避難場所を確認しておきます。
- 6 家族ぐるみ、会社ぐるみ、地域ぐるみで防災訓練に参加します。

発災直後

- 1 強い揺れを感じたら、命を守るためにその場に合った身の安全を図ります。
- 2 怖いのは火事、揺れが収まったら速やかに火の始末を行います。
- 3 近所のお年寄りや障害者の安否を確認し、余震に気をつけながら安全な場所へ移動します。
- 4 避難する時は、ガスの元栓と電気のブレーカーを落とし、備蓄食料と常用薬を持って行きます。
- 5 断片的な情報しかない中でも、噂やデマに惑わされないよう常に冷静を保ちます。
- 6 強い揺れや長い揺れを感じたら、最悪の津波を想定し、ためらわずに大声で周囲に知らせながら高いところへ避難します。

避難生活

- 1 地域防災拠点ではみんなが被害者。自分にできることを見つけて拠点運営に協力します。
- 2 合言葉は「お互いさま」。拠点に集まる一人ひとりの人権に配慮した拠点運営を行います。
- 3 避難者の半数は女性。積極的に拠点運営に参画し、女性の視点を生かします。
- 4 子どもたちの力も借りて、一緒に拠点運営を行います。
- 5 消防団員も拠点運営委員も同じ被災者。まずは感謝の言葉を伝えます。
- 6 「助けて」と言える勇気と、「助けて」に耳を傾けるやさしさを持ちます。

自助・共助の推進

- 1 あいさつを手始めに、いざという時に隣近所で助け合える関係をつくります。
- 2 地域で、隣近所で、家庭で防災・減災を学び合います。
- 3 子どもたちに、大地震から身を守るための知恵と技術、そして助け合うことの大切さを教えます。
- 4 横浜はオープンな街、訪れている人みんなに分け隔てなく手を差し伸べます。
- 5 私たち横浜市民は、遠方の災害で被災した皆さんにもできる限りの支援をします。

火災予防・地震対策チェック(宿題編)

自宅で家族とチェックしてね

チェック1

自宅に消火器を備えていますか



チェック2

広域避難場所や地域防災拠点を知っていますか



チェック3

自宅の家具の転倒防止対策はしていますか



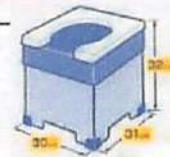
チェック4

3日以上の水や食料を備蓄していますか



チェック5

トイレパックは備蓄していますか



チェック6

地域の防災訓練に参加していますか



チェック7

心肺蘇生法を学んでいますか



チェック8

防災について家族と話し合いをしていますか



※これらのクイズとチェックは、磯子区防災パネル展(毎年1月中旬及び8月下旬)の展示資料や横浜市総務局が作成した「わが家の地震対策」震災対策度チェックから引用しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/wagayanojishintaisaku/>

注意事項:本添付資料は防災訓練時に入手し、消防署の了解を得て添付しています。ただし最初のクイズのページは省略させていただきました。(150926)

小田小学校地域防災拠点にお住まいのみなさまへ

小田小学校地域防災拠点(以下拠点)受入体制整備に今年度から全力を尽くしています。しかしながら 横浜市内防災拠点には別表の物が備蓄されておりますが 内容及び数とも満足できるものではありません。

従いまして 拠点に避難された時点ではこの在庫からみなさまで分けて頂く事になります。又関東圏には人口が密集しており 他地区、外国等の支援物資の配付までに相当の日時がかかるとの覚悟が必要と思われます。

現在大きな災害が予測されている関東圏内のもは富士山の噴火、東海地震、首都直下震等々があります。

この様な大災害発災時には交通機関の混乱に加えて 首都圏の膨大な被災者人口を満ち得る物資の供給は想像を絶するものになると思われます。その調達ルートは寸断され復讐迄相当の日時がかかると覚悟しておく必要があるでしょう。

そこで皆様にやって頂く事は災害を最小限に抑える為の

◎家屋の耐震化 ◎家具の固定

◎自宅での備蓄(自宅が倒壊しない)です。

皆様がたにお勧めしたいことは

◎水(3L×1週間程度×家族)

◎備蓄は通常使用する物を古いものから使用するローリングストックです

お米、乾麺類、缶詰、その他賞味期限6~24カ月、それ以上もあり

◎冷凍庫(2Lペットボトルの水⇒氷、停電時の保冷効果⇒3日程度の保存食に)

◎常時服用薬10日程度(薬手帳)

◎その他ご家族でお話しあいください

この様に自助・共助(近助)・公助と言いますが 一番大切なものは自助でご近所との近助も忘れてはなりません。

神戸の場合は家屋の倒壊や家具類(ピアノ、冷蔵庫、コピー機等)の下敷きになる圧死が多発しました。この圧死の救助は2時間以内を目途で助かるといわれています。

テレビでご承知のように広範囲の火災により神戸も東北も被害は大きくなっています

近所での初期消火についてご近所・自治会等によく話し合ってもらけるといいのではないのでしょうか(初期消火箱・スタンドパイプ式初期消火器具、散水栓等)

防災はみなさまが一人一人の協力なくしては地域防災はなりたちません 多くの方のご対応とご協力をお願いします

各自治会・町内会の役員、地区長(区長、班長、組長他)及び地域住民の対応

平常時の心構えと発災に遭遇したときの対応

発災から避難まで ～一般住民に周知啓蒙すること～

(1)自身の安全確保をはかる

住まいが火災や倒壊の危険が無いときは、あえて長期に避難する必要はないので、状況に応じて判断する。

(2)近くの公園・空き地・広い道路、学校等への一時避難

家を出るときは、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをOFF(再通電火災防止)にし、戸締りをして、車を使わず歩いて避難する。隣近所に声をかけあって、子供、高齢者、障害者等の手助けを行う。避難時、狭い路地、崖下、ブロック塀際は避ける。平常時から、自宅周辺の地理や一時避難所を確認しておく。

(3)指定されている地域防災拠点(震災時避難場所)へ避難

自宅が倒壊又は倒壊の恐れがある場合や余震の危険がある場合等には、指定されている地域防災拠点(小田小学校)へ避難する。平常時から、地域防災拠点への避難経路を確認し、ブロック塀や崖等の危険な箇所を調べておく。(避難経路は一つではなく複数調べておく)

(4)広域避難場所への避難誘導

大火災が発生し、延焼拡大する恐れがある場合には、熱や煙から生命・身体を守るため避難者を一時的に指定広域避難所(富岡総合公園等)へ避難させます。

平常時から、近くの広域避難場所等への避難経路を確認し、危険箇所を調べておき、円滑な避難誘導をできるようにしておく。

(大火災の場合、輻射熱と火災旋風による熱風とこれにより巻き上げられた火の粉等の落下物のため火災発生地点周辺は100m以内に近づくことは危険です)

注意事項

(1)各自町会は地域特性に応じた対応を自町会内で議論し、

自町会の防災マニュアル等に反映してください。

(2)発災時に頼れる地域の病院等を把握しておくことが重要です。

(3)小田小防災拠点では、避難所にマット等の敷物が無いので、

避難者は各自工夫願います。

小田小防災拠点 防災倉庫アドレス

2016年7月15日

上側

| | | | | | |
|----|----|----|-----|----|----|
| 84 | 74 | 64 | 54 | 44 | 34 |
| 83 | 73 | 63 | 53 | 43 | 33 |
| 82 | 72 | 62 | 52 | 42 | 32 |
| 81 | 71 | 61 | 51U | 41 | 31 |
| | | | 51D | | |

1. 棚は入口右から反時計回りに1～9、小さい棚を10とする。
2. 高さは、1～4とする。
なお、9番は1～5とする。
3. レベルを合わせるため51,52はU,Dで分ける。
4. 床は。前の棚のNO+0

| | | | | | |
|----|-----|----|--|----|----|
| 80 | 70 | 60 | | | 20 |
| 90 | 100 | | | | |
| 91 | 101 | □Y | | 11 | 21 |
| | 102 | | | | |
| 92 | 103 | | | | |
| 93 | | | | | |
| 94 | | | | | |
| 95 | | | | 12 | 22 |
| | | | | 13 | 23 |
| | | | | 14 | 24 |

上側

<<食料・物資備蓄品管理表>>

| 品名 | 数量 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | コメント |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | |
| 水缶詰 | 2,016本 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| クラッカー | 1,050個 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 缶入保存パン | 1,000個 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| おかゆ | 640個 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| スープ | 225個 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 粉ミルク | 20セット | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 哺乳瓶 | 40本 | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |

| 品名 | 数量 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | コメント |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | |
| 水缶詰 | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| クラッカー | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 缶入保存パン | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| おかゆ | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| スープ | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 粉ミルク | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 哺乳瓶 | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |

| 品名 | 数量 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | コメント |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | |
| 水缶詰 | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| クラッカー | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 缶入保存パン | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| おかゆ | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| スープ | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 粉ミルク | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |
| 哺乳瓶 | | / | / | / | / | / | / | / | / | / | / | |

添付資料4. IT環境

パソコン、プリンター、用紙、インク、USB

無線ルーター(2器) コレガの数千円中古で十分

PW

4-10-3 災害用ハマッコトイレの設置と運用

(1) 用具一式について

用具は下表のもの各々表記の倉庫に格納してある。

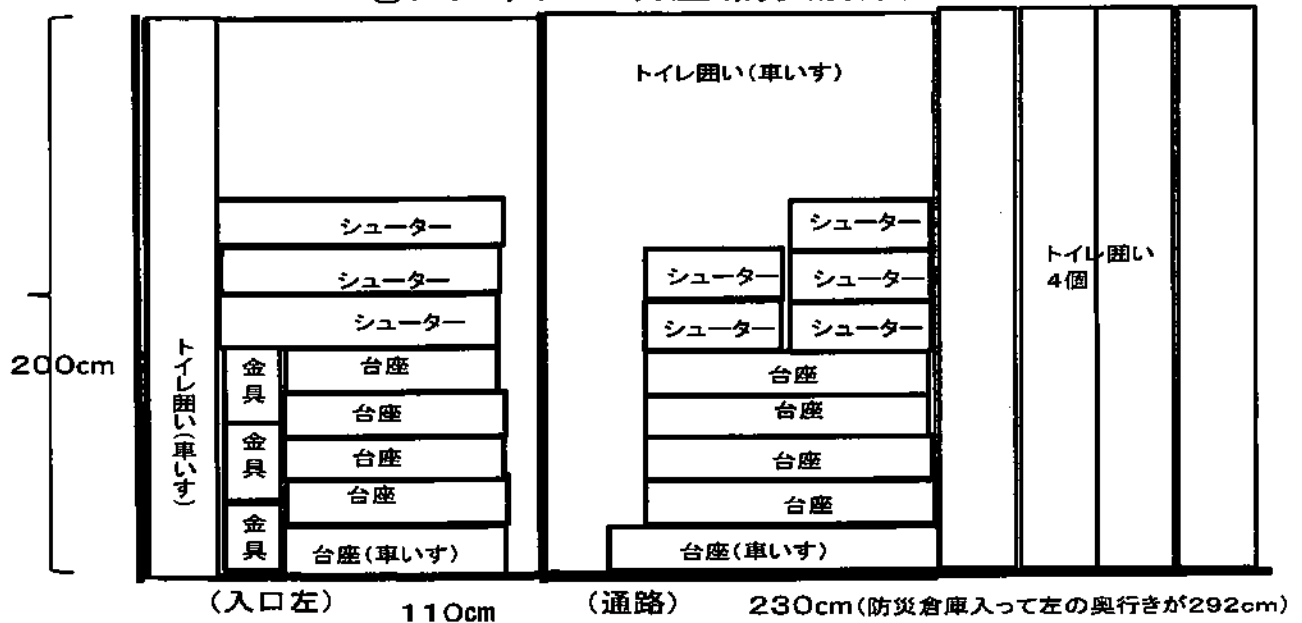
災害時(訓練時)はここから搬出し、倉庫入口裏側についてあるマニュアルを参考にして、組み立て設置する。

| No | 記号 | 品名 | W | D | H | 数 | 備考 |
|----|------|------------|-----|-----|-----|---|---------|
| 1 | T | トイレ囲い | 105 | 20 | 200 | 4 | |
| 2 | TD | 台座 | 90 | 90 | 35 | 4 | 注 |
| 3 | T-K | トイレ囲い(車いす) | 140 | 20 | 210 | 1 | |
| 4 | TD-K | 台座(車いす) | 100 | 90 | 35 | 1 | 注 |
| 5 | P-R | 屋上型ポンプ | 90 | 90 | 120 | 1 | |
| 6 | H-S | 取水ホース | 100 | 100 | 10 | 1 | 4cmx5m |
| 7 | H-L | 送水ホース | 100 | 100 | 30 | 5 | 4cmx20m |

注:実際はシューター。金具とバラバラ

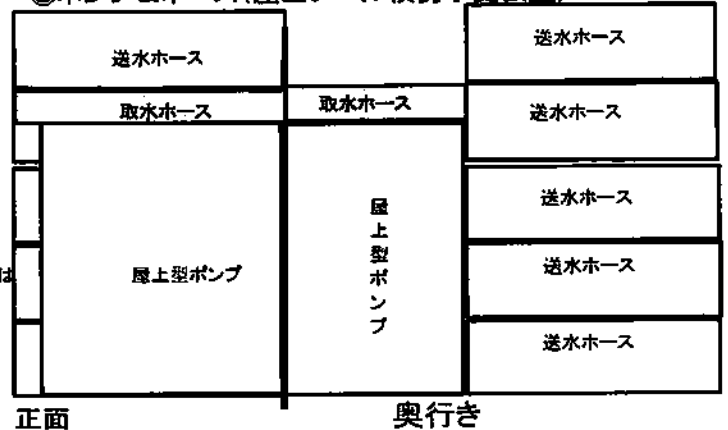
(2) 置き場レイアウト

① トイレ囲い&台座(防災倉庫入口左)



金具の上段に運
搬用台車がある

② ポンプ&ホース(屋上プール横男子更衣室)



210718注意事項

- ・シューターは一つにまとめた。
- ・ポンプとホースは試験運転をしたため
適当にまとめておいてある。格納も適切に
お願いします。

(3) 洗浄用水の取水と定期的な排水&給水(詳細はマニュアル参照)

① ポンプとホースの設置(ホースの固定はマニュアル参照)

体育館西の校舎の屋上プールにポンプとホース設置。送水ホースを地上に下ろしトイレの給水に接続する。

② ポンプを手動で動かし給水する。サイホンの原理で自動給水。

③ トイレの下の配管に規定量の水を張る。

④ しばらく使用して、満杯(水が残っていないと流れないので注意)になったら、

トイレ下の配管の下流のゲートを開け下水管に流しだす。

⑤ 流れ終わったら②③を行う。プール満水→数回/日×150日使える

⇒これはトイレ当番を決めて日々運用する。42ページ小田小学校防災拠点当番表を参考に決定する。

注:水道が復活したときはプールの湛水も学校と相談しておこなう。⇒これは本部運営会議が決定実施。

添付資料3:食料・物資備蓄品リスト

防災倉庫にある食料・物資備蓄リストです

- ・(1)の食料・物資備蓄品は賞味期限が近づくと行政から入替品が送られてくるので、該当物資は避難訓練で使うか参考品として訓練参加者に配布する。
それでも余る場合は、行政指定の業者に引き取ってもらう。
- ・本物資の持ち出しは、本表を倉庫の入り口に設置し、持ち出す時に記入する。
持ち出し・記入は、各リーダーのみが判断して処理するものとする。
なお必要時はサブリーダー等への権限移譲は可能。
- ・炊出しや配布で使用する場合は、直接持ち出すものとし、食料・物資管理の対象としない。
- ・外部への配布を行う必要がある場合は、いったん防災拠点センターの管理ヤードに入れて処理をする。この場合は小冊子-4食料・物資管理業務に従う。

1. 保存食一覧

| No | 品名 | 数量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | |
|----|---------|--------|---------------------------|-------|-------|-------|-------|---|
| 1 | 水缶詰 | 2,000本 | / | / | / | / | / | |
| 2 | クラッカー | 1,000個 | / | / | / | / | / | |
| 3 | 缶入保存パン | 1,000個 | / | / | / | / | / | |
| 4 | おかゆ | 460個 | 食料・物資備蓄品の管理は 付3-8を使用する | | | | | / |
| 5 | スープ | 220個 | | | | | | / |
| 6 | 粉ミルク | 20セット | / | / | / | / | / | |
| 7 | 哺乳瓶 | 40本 | / | / | / | / | / | |
| 8 | ライスクッキー | 60セット | / | / | / | / | / | |

その他:小田小学校地域防災拠点で購入備品

| No | 品名 | 数量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|----------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 雨水タンク(21年度購入) | 1台 | / | / | / | / | / |
| 2 | 会議テーブル(21~22年度購入) | 8台 | / | / | / | / | / |
| 3 | ホワイトボード(24年度購入図書室常置) | 1台 | / | / | / | / | / |
| 4 | 電動チェーンソー(26年度購入) | 2台 | / | / | / | / | / |
| 5 | 炊出し用重量ブロック(27年度購入) | 20個 | / | / | / | / | / |
| 6 | 灯油ポリタンク(27年度購入) | 1個 | / | / | / | / | / |
| 7 | バケツ(27年度購入) | 3個 | / | / | / | / | / |
| 8 | プラダン(28~29年度購入) | 240枚 | / | / | / | / | / |
| 9 | LED投光器(28年度購入) | 2個 | / | / | / | / | / |
| 10 | はちまき(28年度購入) | 8本 | / | / | / | / | / |
| 11 | たすき(28年度購入) | 40本 | / | / | / | / | / |
| 12 | 100W LED投光器(28年度購入) | 1個 | / | / | / | / | / |
| 13 | 太陽光 LED 20W(29年度購入) | 2個 | / | / | / | / | / |
| 14 | LEDヘッドライト充電式(29年度購入) | 10個 | / | / | / | / | / |
| 15 | 保管BOX(29年度購入) | 4個 | / | / | / | / | / |
| 16 | アルミ大鍋 | 2 | / | / | / | / | / |
| 17 | 仮本部用テント | 1 | / | / | / | / | / |

2. 生活用品

| No | 品名 | 数量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|--------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 高齢者用紙おむつ | 210枚 | / | / | / | / | / |
| 2 | 幼児用紙おむつ | 1,350枚 | / | / | / | / | / |
| 3 | 生理用品 | 425個 | / | / | / | / | / |
| 4 | トイレトーパー | 192巻 | / | / | / | / | / |
| 5 | まかない君(炊飯用大釜と炉) | 1式 | / | / | / | / | / |
| 6 | 毛布 | 240枚 | / | / | / | / | / |
| 7 | アルミブランケット | 240枚 | / | / | / | / | / |
| 8 | 組立式仮設トイレ(2020年度廃却) | — | / | / | / | / | / |
| 9 | 簡易式トイレ便座 | 6組 | / | / | / | / | / |
| 10 | トイレパック | 5,000セット | / | / | / | / | / |
| 11 | 簡易式テント | 2基 | / | / | / | / | / |
| 12 | LEDランタン | 80台 | / | / | / | / | / |
| 13 | ラジオ | 2台 | / | / | / | / | / |
| 14 | 防災電話機(デジタル移動無線) | 1台 | / | / | / | / | / |
| 15 | デジタル移動無線延長コード | 1セット | / | / | / | / | / |
| 16 | トランシーバー | 2台 | / | / | / | / | / |
| 17 | 特設公衆電話、ケーブル | 2セット | / | / | / | / | / |
| 18 | ビブス 運営委員会用(橙) | 10枚 | / | / | / | / | / |
| 19 | ビブス ライセンスリーダー用(青) | 10枚 | / | / | / | / | / |
| 20 | 応急給水装置(防災倉庫) | 1式 | / | / | / | / | / |
| 21 | 受水槽蛇口(ポンプ室) | 1式 | / | / | / | / | / |
| 22 | 啓発用折りたたみペットキャリー | 2 | / | / | / | / | / |
| 23 | 災害時地域防災拠点衛生ポスター | 1式 | / | / | / | / | / |
| 24 | はまっこトイレ式 | 1式 | / | / | / | / | / |

3救護/救助用品

(1)救護用品

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | リヤカー | 2台 | / | / | / | / | / |
| 2 | グランドシート | 10枚 | / | / | / | / | / |
| 3 | 給水用水槽 | 1個 | / | / | / | / | / |
| 4 | 松葉杖 | 5組 | / | / | / | / | / |
| 5 | 保温用シート | 50枚 | / | / | / | / | / |

(2)小田中学校医療拠点より受入備品

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|--------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | ランタン | 2個 | / | / | / | / | / |
| 2 | 担架ベット (2020年度廃却) | — | / | / | / | / | / |
| 3 | ポリバケツ | 1個 | / | / | / | / | / |
| 4 | 照明灯 | 1台 | / | / | / | / | / |
| 5 | 台車 | 1台 | / | / | / | / | / |
| 6 | ポールスタンド | 1台 | / | / | / | / | / |
| 7 | 旗(救護所) | 3枚 | / | / | / | / | / |
| 8 | 点滴スタンド 保健室 | 2本 | / | / | / | / | / |
| 9 | メディカルペール(感染性廃棄物容器) | 1個 | / | / | / | / | / |

(3)救急用品 拠点で購入

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 救急用品プラ容器 | 2 | / | / | / | / | / |
| 2 | 伸縮ホータイ L 2個入り | 2 | / | / | / | / | / |
| 3 | マキロンS | 3 | / | / | / | / | / |
| 4 | 消毒薬 クロイロ | 1 | / | / | / | / | / |
| 5 | 救急バンV M100 | 4 | / | / | / | / | / |
| 6 | アルコール消毒布 60 | 2 | / | / | / | / | / |
| 7 | カット綿 | 2 | / | / | / | / | / |
| 8 | 腕章 救護班 | 10 | / | / | / | / | / |
| 9 | 腕章 救出救護班 | 11 | / | / | / | / | / |

(4)救急箱 保健室で保管

横浜市医療局より送付

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|----------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 救急箱 トランクボックス | 1台 | / | / | / | / | / |
| 2 | 滅菌ケープイン 8枚 | 5箱 | / | / | / | / | / |
| 3 | 伸縮包帯 エスパタイ 10巻 | 2箱 | / | / | / | / | / |
| 4 | ステンレス鉢 | 3個 | / | / | / | / | / |
| 5 | 新カットバンA 3サイズ100枚 | 2箱 | / | / | / | / | / |
| 6 | カットバン ジャンボサイズ Lサイズ7枚 | 3箱 | / | / | / | / | / |
| 7 | 清浄綿ピナコット 20包 | 1箱 | / | / | / | / | / |
| 8 | ケープイン消毒薬 | 10個 | / | / | / | / | / |
| 9 | サジカルテープ ユートクサープ | 6個 | / | / | / | / | / |
| 10 | ポリ手袋 サニメイト手袋M 20枚 | 1箱 | / | / | / | / | / |
| 11 | サロンシップ インドメタシンEX 24枚 | 1箱 | / | / | / | / | / |

(5)疾病対策要BOX一式

立ち上げBOX 参照

4. 救助用品

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|--------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 発電機(ガソリン式) | 2台 | / | / | / | / | / |
| 2 | 発電機(ガス式) | 9台 | / | / | / | / | / |
| 3 | 投光機 | 3台 | / | / | / | / | / |
| 4 | エンジンカッター(革手、防塵眼鏡付) | 2台 | / | / | / | / | / |
| 5 | ガレージジャッキ | 5本 | / | / | / | / | / |
| 6 | 掛矢 | 2個 | / | / | / | / | / |
| 7 | 担架 | 10台 | / | / | / | / | / |
| 8 | 応急担架用ポール(2020年度廃却) | — | / | / | / | / | / |
| 9 | 金属梯子 | 1本 | / | / | / | / | / |
| 10 | ヘルメット | 10個 | / | / | / | / | / |
| 11 | ランタン | 80台 | / | / | / | / | / |
| 12 | モジュラーコード | 1基 | / | / | / | / | / |
| 13 | トランシーバー | 2台 | / | / | / | / | / |
| 14 | ロープ | 5本 | / | / | / | / | / |
| 15 | ワイヤーカッター | 5本 | / | / | / | / | / |
| 16 | つるはし | 5本 | / | / | / | / | / |
| 17 | 大ハンマー | 5本 | / | / | / | / | / |
| 18 | スコップ | 5本 | / | / | / | / | / |
| 19 | てこ棒 | 5本 | / | / | / | / | / |
| 20 | 大パール | 5本 | / | / | / | / | / |
| 21 | 大なた | 5本 | / | / | / | / | / |
| 22 | のこぎり | 5本 | / | / | / | / | / |
| 23 | LED投光器 | 3台 | / | / | / | / | / |

5. 燃料・工具等

(1) 燃料・オイル

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|--------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | ガソリン (発電機用・移動式炊飯器用) | 10L | | | | | |
| 2 | ガソリン 1リットル缶 | 7個 | | | | | |
| 3 | 灯油 (移動式炊飯器用) | 10L | | | | | |
| 4 | 4サイクルガソリンエンジン用オイル (発電機用) 2 リットル | 2本 | | | | | |
| 5 | オイル混合液 ガソリン缶 (エンジンカッター用) (1リットル入) | 2個 | | | | | |
| 6 | 2サイクル専用オイル (エンジンカッター用) (1リットル入) | 1本 | | | | | |
| 7 | カセットガスボンベ (ガス発電機用) | 150本 | | | | | |

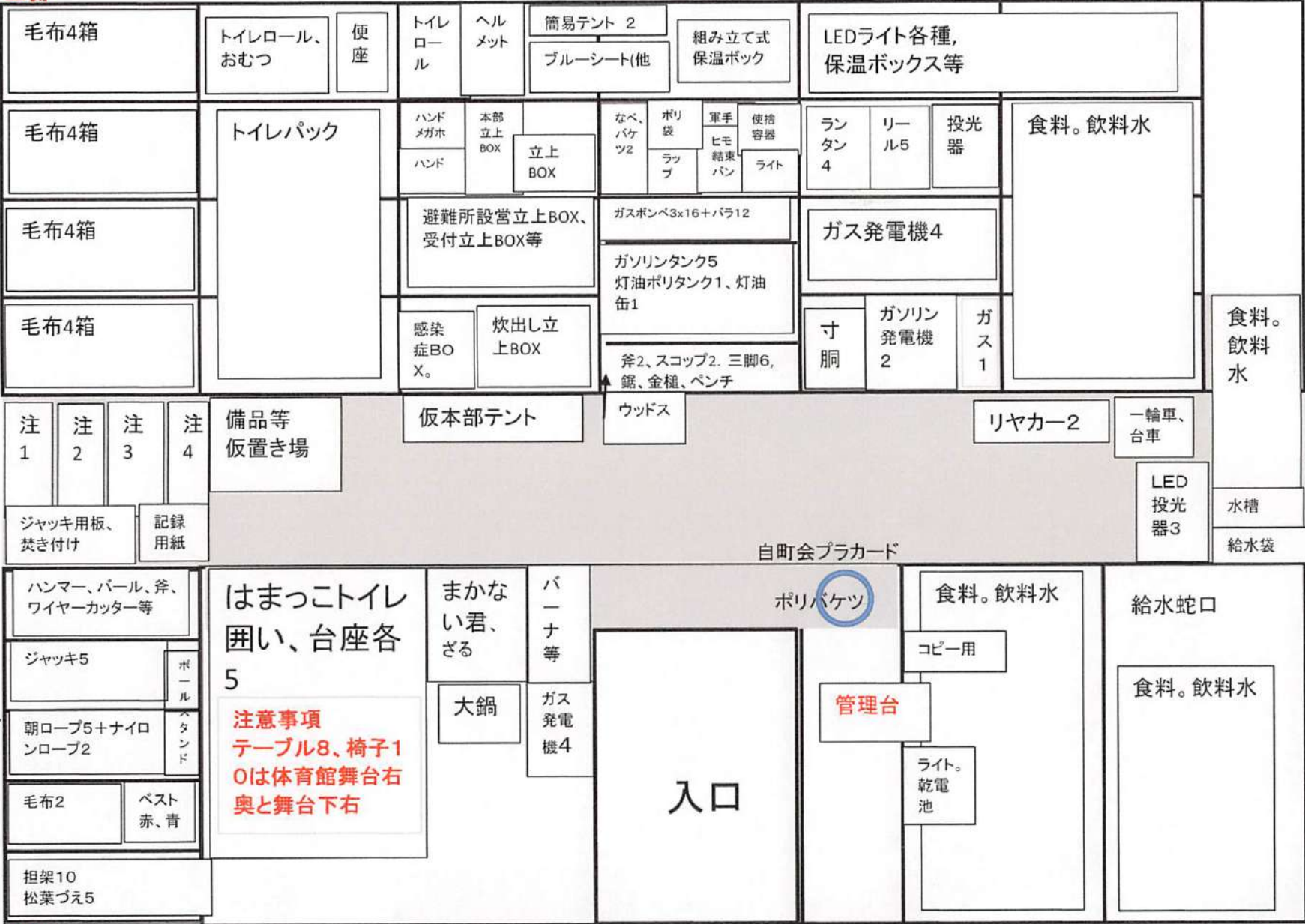
(2) その他(工具類・釘・木ねじ・文房具・記録紙等)

| No | 品 目 | 数 量 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 | 使用/残数 |
|----|------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 丸くぎ(45mm×4kg) | 1箱 | | | | | |
| 2 | 丸くぎ(65mm×4kg) | 1箱 | | | | | |
| 3 | 木ねじ(徳用2種) | 2箱 | | | | | |
| 4 | 木ねじ(徳用) | 1箱 | | | | | |
| 5 | オルファ カッター | 3個 | | | | | |
| 6 | オルファ カッター替刃 | 1箱 | | | | | |
| 7 | のこぎり | 1箱 | | | | | |
| 8 | インシュロック(3種類) | 各1袋 | | | | | |
| 9 | 金づち | 1本 | | | | | |
| 10 | ガムテープ(カラー) | 7巻 | | | | | |
| 11 | ゴム引軍手(3双入) | 4袋 | | | | | |
| 12 | 軍手(20双入) | 5袋 | | | | | |
| 13 | ごみ袋(45L半透明100枚入) | 3袋 | | | | | |
| 14 | PPテープ玉巻(D3mm) | 10巻 | | | | | |
| 15 | PSテープ大巻(D6mm) | 5巻 | | | | | |
| 16 | 画紙(150入) | 1箱 | | | | | |
| 17 | ダブルクリップ(13mm×42個) | 2箱 | | | | | |
| 18 | ダブルクリップ(15mm×42個) | 1箱 | | | | | |
| 19 | ゼムクリップ(260入) | 1箱 | | | | | |
| 20 | 油性マーカー(太・細入カラー) | 4袋 | | | | | |
| 21 | W. B用マーカー(カラー5本入) | 2袋 | | | | | |
| 22 | A4記録紙(2500枚入) | 1箱 | | | | | |
| 23 | Pカットテープ | 30 | | | | | |
| 24 | 透明梱包テープ カッター付 | 1 | | | | | |
| 25 | 透明梱包テープ | 1 | | | | | |
| 26 | カラー布粘着テープ 青 | 2 | | | | | |
| 27 | カラー布粘着テープ 緑 | 2 | | | | | |
| 28 | Pカットテープ | 2 | | | | | |
| 29 | カラー布粘着テープ 黄 | 2 | | | | | |
| 30 | カラー布粘着テープ 赤 | 2 | | | | | |
| 31 | ラミレスクラフトテープ | 2 | | | | | |
| 32 | 布テープ | 2 | | | | | |
| 33 | ポリ袋(汚物、生ごみ45リットル) 拠点購入 | 150枚 | | | | | |
| 34 | ポリ袋(多目的、大・中・小) 拠点購入 | 150枚 | | | | | |
| 35 | 防災用簡易寝袋 拠点購入 | 9個 | | | | | |
| 36 | 簡易トイレ(便助10枚入り) 拠点購入 | 10袋 | | | | | |

小田小防災拠点 防災倉庫レイアウト

注意事項:ガソリタンク(内容有り1. 無し4)
灯油ポリ(内容あり)。灯油缶ガソリン缶は空

上側



注1:毛布5箱+保温シート1箱(上)
 注2:毛布3箱+保温シート2箱(上)
 注3:保温シート2箱
 注4:エンジンカッター2、チェーンソー2.

この棚は使用しないもの、頻度の

補足
 1. 炊飯用ブロックは体育用具入れ。
 2. 薪はポンプ室にある

上側